friendship force HIROSHIMA

Newsletter Vol.10

【平成２９年１月２８日 発行】

2017年「若さをFFに」取り戻そう

会 長　弓手 博

2016年には、皆さまのおかげで「楽しさをＦＦに」取り戻すことができました。10月にメキシコ・コアテペックの受け入れ、11月にカナダ・ナイアガラ、トロント、オタワ、ビクトリア受け入れ、さらに、5月と8月にはニュージランドホームステイの間終始笑いが絶えることなく楽しい毎日を過ごすことができました。このような素晴らしい体験をさせていただけたことについて、メキシコ、カナダ、そして、特にＮＺニュープリマス、ワンガレイ、ギズボーンＦＦの素晴らしい友人、交換を可能にしてくれたアトランタＦＦＩのunsung staff、そして、ＦＦ広島の全会員の皆さまに心から感謝しています。

しかし、いくら感謝しても「歌って踊ってワイワイ騒ぐ楽しくすばらしいＦＦのひと時を持続可能にする」ためには、組織のシニアー化に少しでもブレーキをかける努力をしていかなくてはなりません。そのような努力に向けた具体的活動の一つとして、2017年6月にＦＦ広島はＦＦ武蔵野三鷹との連携のもと下記GYAP（The Global Youth Ambassadors Program）を福山、尾道、広島で展開します。このような世代を超えて行う国際平和貢献活動を通して、ＦＦ広島会員の皆さまが少しでもYoung at heart, Young at mindを取り戻せたらと考え、GYAPは今回SGH（Super Global High School）広島女学院中学高等学校で2日間お世話になることに決定しました。このことについては、昨年11月にDr. John H. Eavesが来広して現地視察し、12月3日にホワイトハウスでオバマ大統領へ女学院訪問の報告をされました。

これまでも、来日するＦＦアンバサダーの多くは日本の小学校訪問を希望する人が多く、その都度「すべて参考になった」と大いに喜んで帰国してもらいました。今後もＦＦ広島は過去の成功体験を踏まえ、地元の幼稚園、小学校、中学校、企業などへも訪問先を拡大するなどの社会貢献努力を継続するとともに、ＦＦ広島会員のシニアー化の阻止、若返りと健康年齢の長期化を図って行きたいと思っています。

GYAPについて（ Dr. John H. Eaves氏 ）

A LETTER FROM THE FOUNDER

DEAR STUDENT,

The Global Youth Ambassadors Program (GYAP) is a leadership education and global initiative that targets high school students. GYAP empowers high school students to become competitive in the global economy through a leadership program that includes life skills, development, foreign language, community service, communications, and international travel.

Since its inception in 2008, the Global Youth Ambassadors Program has had over 200 high school student participants, that traveled to such countries as South Africa, Germany, Turkey, Brazil, China, and Mexico. Nearly every past participant has indicated that the experience in the program has had a significant impact on their lives.

The success of GYAP is due to many terrific partners, such as Georgia Tech and the Goethe-Zentrum Atlanta, who have provided comprehensive leadership, cultural, and foreign language training. GYAP has also enjoyed extensive corporate support from such sponsors as Georgia Pacific, Georgia Power, Pepsi Cola, and Waffle House.

The Global Youth Ambassadors Program is excited about its "Expansion" of program offerings in 2017 that will accommodate more students, travel to more destinations, and provide a better global experience to all.

I invite you to be a part of this journey by completing an application and putting on your "seat belts" for a life changing experience!

With Warm Regards,

Coatepec Club 受け入れ報告

《 陽気で明るい Coatepec Club のアンバサダー！》

昨年１０月4日（火）から１０月１１日（火）まで、メキシコとコアテペッククラブから１６名のアンバサダーを迎え、交換行事を行いました。英語でコミュニケーションがとれるのは、ＥＤのＧｅｒａｒｄｏと奥さんのＭｉｒｉａｍ、そして若い実業家Ｖｉｃｔｏｒ夫妻と数名。ジェスチャーと英単語を並べてのコミュニケーションだけれども、不思議と気持ちが繋がり合えるアンバサダーたち。みんな、明るく陽気で仲間が集うと歌とダンスの輪が自然と出来ている！彼らから、言葉以上に大切なものを学び、これぞＦｒｉｅｎｄｓｈｉｐ Ｆｏｒｃｅの目指すものと心がホッコリしました。１０名のホストの皆さま、デイホストをお引き受け頂いた多くの会員の皆さま、ご協力ありがとうございました。心より感謝申し上げます。交換日程は下記の通りでした。

（ＥＤ廣森　Ｃｏ-ＥＤ山本）

10月　4日（火）オリエンテーション、呈茶（抹茶）（福寿会館）
10月　5日（水）大雨の警報のため、常石造船所見学中止。午前中ホストとFree Day
午後3時からWelcome Dinner（中組クラブ）
10月　6日（木）シーサイドホテルで昼食。鞆の街散策
鞆ガイド英語版を作成し、英会話サロンのメンバーが英語で案内しました！
10月　7日（金）　広島ツアー（平和公園、原爆資料館、原爆ドーム、追悼記念館でのボランテイアによる被爆者のMemoir（英語）の朗読、広島お好み焼き）スペイン語通訳（Mr.Omar）
10月　8日（土）宮島ツアーとショッピイング　スペイン語通訳（成次さん）
10月　9日（日）ホストとのFree Day
10月 10日（月）Farewell Party （露庵）声が大きすぎて、何度も店主から注意を受けるハプニングも…
10月 11日（火）帰国（関西国際空港発（16:25））
福山駅ホームでの“Good By Song”は最高の盛り上がり！

Friendship Force Coatepec(メキシコ合衆国メキシコ湾岸ベラクルーズ州La Bamba発祥の地)

しまなみ海道でもいつも楽しい歌と踊り。右から順にマリア、ミリアム、踊りの好きなエレーナ。
右の写真、メキシコ土産のお菓子がどっさり（ウエルカム・ランチョン）

メキシコのアンバサダーは「人生には歌と踊りとテキーラがあれば十分、ケ・セラ・セラ」と言って大きなスマイル。今回はあこがれの国境の南・太陽の国メキシコからのAmigosとの短いふれあいでしたが、人生の本当の意味Carpe diemに気づかせていただきました。
コトバはほとんど通じなくても、子どものような素直なココロをもてば日本語でもどうにか気持ちは通じるようです。日本語であれスペイン語であれ英語であれその他何語であれ、コトバにはあまり気をかけていないようなココロ重視の人々でした。帰国後もフェイスタイムで「Coatepecに来て何年でもJalapaに住んで・・・」とホンネで繰り返し言われ、今のココロとアタマでは今年こそメキシコ訪問を実現させナイト。　　弓手　博

《 メキシコのフレンドシップフォース Coatepec（コアテペック）クラブを受け入れて 》

我が家がお迎えしたアンバサダーは、モイセスとテレシータの夫婦で二人とも表情に「穏やかで優しそう」を感じ安心しました。一応の歓迎セレモニーが終わって中庭で記念写真を撮ることになりました。スペイン語を少しばかり知っている妻（千鶴子）は、一生懸命に単語を並べてみるものの通じず、手振り身振りでやっと少しこちらの意図が通じたかなと思えるぐらいでした。「この先が思いやられるぞ」と自信を無くしかけ不安になりました。しかし、日が経つにつれ手振り身振りで少しずつでも我々夫婦の思いが伝わることに気づき，元気を取り戻し，ホストファミリーを頑張ることにしました。

赤坂の公民館で行われた歓迎会で私たち夫婦がどうしていいか分からず立ったまま躊躇しているとモイセス夫婦が私たち夫婦をエスコートしてくれて席に案内してくれました。また、お茶や菓子をテーブルに用意してくれて大変、気を遣ってくれました。私たちは、申し訳ないという思いと同時に彼らの優しさを感じました。歓迎セレモニーで妻と妻の友人は、勇気を出してフラメンコを披露しました。会場の皆さんとモイセス夫婦に喜んでもらえたことが良き思い出になりました。通訳を依頼した長女が8日（土）にやっと福山へ帰ってきました。そして、スペイン語の話せる娘が現れたとたんにモイセス夫婦は堰を切ったように二人からスペイン語が洪水のように溢れ出てきました。相当にストレスが溜まっていたのでしょう。これも良き思い出になりました。。この素晴らしい機会を与えていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。　　井出　和雄　千鶴子

《 2016年10月　メキシコのアンバサダー 》

メキシコからのホームステイ受け入れが終了して季節も冬へと移りました。私どもは初の経験でしたのでうろたえるのみでしたけれど、我家への訪問を楽しんで頂ければ幸いと、ただそれだけでした。

（４ページへ続く）

常石造船の見学は強風と雨のため中止になりましたが、少雨のため彼らの希望を叶えお連れしました。六本木ヒルズをそのまま横に倒した大きさの10万トン級に近い大きな船があり、その建造途中のセパレートボディを何枚も何枚も写真を撮って喜ばれました。フリーデーの日曜日はしまなみハイウエーを渡って四国松山のカラクリ時計をお見せしました。漱石の坊ちゃんの中に出て来る3場面が、カラクリ時計が3段になってズンズン高くなりマドンナや坊ちゃん、赤シャツ等の綺麗な人形が現れて興味深いものでした。松山観光の群がる日本人もメキシコの方も笑顔に溢れて素敵な一日でした。

お客様がお仕事の関係からか車好きで、私の使っているクラッシックカーのミゼット車にも話が弾みこのホームステイを大変喜んで下さったので、終わってみればアッという間に経過していました。

丸橋 智江

2016年もFFを通して様々な人との出会いがありました。10月のCoatepecではElenaというコロンビア出身の女性をお受けしました。言葉の壁がありお互いの細かいコミュニケーションは出来ませんでしたが明るい彼女の人柄に助けられました。何より相手を理解しようとする意識と、温かい気持ちがあれば心は充分通じ合えるし、言葉を越えるものがあるのだと体験できた貴重な数日でした。〝常に笑顔で〟は彼女が残してくれた最高の贈りものです。

また、11月のNiagaraではJacqueline という女性をお迎えしました。内海町水仙の里では海を眺めながらのピクニック。お弁当の風呂敷を嬉しそうに解いていた姿が思い出されます。今回も素晴らしい人々との感動をお世話下さったFFの皆様ありがとうございました。　久田 悦子

《 Coatepec,Mexico 》

今回初めてのホスト役を引き受け、少し緊張ぎみに出迎えた福山駅、Gustavo 夫妻からレイ飾りをかけてもらい、どちらがアンバサダーかホストかと、一瞬にして緊張がほぐれました。Gustavo は身長が高く我が家のベッドでは無理かと心配しましたが、斜めに寝るからNo problem と。フリーデイの尾道散策、鞆の浦から尾道のクルーズ乗船、しまなみ海道ドライブ、耕三寺観光、日本の秋祭り等々盛り沢山の観光を楽しんでもらったと思っています。我が家のでの団らんの時、お互いの日常、健康、食事等の会話もどうにか理解でき、時にはスマホの世話になりながら、明るくフレンドリーな彼等と歌や踊りをまじえながら、一緒に楽しませてもらった1週間でした。

渡辺　絹子

《 デイホストをしての感想文 》

毎回のデイホストとして動いております。英会話も全く不十分ですが毎回感じていることは、言葉による意思疎通は出来なくても表情、態度、動きで立派に通じることができるものです。メキシコ、ナイアガラからの訪問を受けてホストをされた金森さん宅への送り迎えと、皆さまと企画した観光名所等へのご案内をしました。

日々の車の中や、行動の中で外国人の人柄というか国民性というものが感じられます。先ず彼らは嬉しいこと、喜びを迎えた時はハグのスキンシップが自然と行われていることです。それと音楽のメロディーに非常に乗りやすいことです。羨ましい気がします。メロディーが流れるともう体や腰が動いているのを見ました。非常に陽気です。そしてナイアガラの女性は全員ピアスをしていましたよ。全員ですよ。オシャレでしたよ。ピアスがオシャレとは言い切れませんが全体的に服装でもカラフルなものを着用しているように感じます。メキシコの時は大三島へ、ナイアガラは大久野島へお連れしてよく知ることができました。言葉は発しなくても通じるのがマジックショーです。今後もウエルカムパーティーでは言葉の不要なマジックで最初のコミを図っていくことにします。

神森　且視

Coatepec Club Ambassador Mr. Alvarez Hermandez Jose Alfonso (64)　男性１人をHostとして受け入れました。Ambassadorはメキシコ人には珍しく物静かな落ちついた品のある男性で、英語を話さないため朝、夜の食事中でもSmart phoneで翻訳してもらって会話をしましたから多少まだるっこしい感じはぬぐえませんでした。日本食が気に入ったらしく、特に朝の味噌汁は毎日飲み干していました。その点、料理メニューの乏しい妻は安心したことでしょう。

晩酌は初日こそ日本酒、ビール、ウイスキー、焼酎、ワインと試しましたが、結局私が飲んでいる一番経済的な焼酎が気に入ったらしく、２日目からはもっぱら焼酎のみでした。床の間の和室を彼にあてがったのですが、朝起きるとすぐに布団をたたんで、部屋をきれいに整頓していました。とにかくHostとしては大変楽なGentlemanly ambassadorでした。

今回メキシコ人と接触するのは初めてでしたが、いつでもどこでも開放的で人生を謳歌している姿に強烈な印象を受けました。Welcome Partyでのメキシコ人の歌と踊りによる乗りの良さには日本人がまねできない民族性を感じ、これは参加していた日本人すべてが思ったことでしょう。

川嵜　武博

Niagara Club 受け入れ報告

《 画期的な交換行事 － Niagara Clubと － 》

FF広島にとってNiagara Clubとの交換行事は、画期的ものとなりました。年２回のＩｎ-ｂｏｕｎｄ交換行事を実施したのは、ＦＦ広島としては初めての試みでした。

Niagara Clubから１３名のアンバサダーは昨年１０月３０日（日）から１１月１日（火）まで広島へストップオーバーし、１１月２日（水）から１１月１０日（木）まで福山地区で通常の交換行事を行いました。今回は、アンバサダーの中にＭＳＧ（グルタミン酸ナトリュウム）のアレルギーの方がおられ、来日前か随分心配をしましたが、滞在中何の問題もなく、安堵の一言です。

コアテペッククラブに引き続いてホストをして下さった方、新たにホストをして下さった方、デーホストの皆さん、ご協力ありがとうございました。交換日程は下記の通りでした。

（ＥＤ川嵜　Ｃｏ-ＥＤ竹内 ）

10月30日(日)	13名のアンバサダー広島着　アステールプラザ泊
10月31日(月)	広島観光(原爆資料館、原爆死没者慰霊碑献花、原爆ドーム、追悼記念館、ボランティアによる被爆者Memoirの朗読)
11月 1日(火)	宮島観光　厳島神社参拝　買い物
11月 2日(水)	広島から福山へ移動　シーサイドホテルで昼食 鞆の街散策(鞆中学校生徒のガイドによる)　鞆中学生と交流会後広島へ **鞆中学生の手づくりのプレゼントに感動！**
11月 3日(木)	Welcome　Lunch（松永コミュニテイーセンター） **カナダと日本の国歌斉唱で始まり、カラオケ、ダンスと盛り上がる！**
11月 4日(金)	常石造船所見学　宝福寺で浄土真宗、親鸞聖人についての法話　呈茶(抹茶)
11月 5日(土)	Free Day
11月 6日(日)	瀬戸田耕三寺、大三島、尾道千光寺観光
11月 7日(月)	Free Day　Farewell & Thanks Dinner（露庵）
11月 8日(火)	倉敷、大原美術館見学　**午後はショッピングを満喫！**
11月 9日(水)	Free Day
11月10日(木)	カナダへ帰国

歌と踊りとマジックで最高の交流体験（ウエルカムパーテイin松永）

水仙の里で昼食
（内海町藤原澤之公民館長ご協力）

神勝寺で座禅体験
（ドイツ人僧侶慈来様のご指導）

鞆の町案内中学生ガイド・
英語によるプレゼンテーション

超愉快なラテン・アメリカの国メキシコに続いて、11月には国境の北の国・カナダから超真面目なアンバサダー13名をお迎えしました。ウエルカム・パーテイ@松永コミュニティーセンターは「カナダと日本両国の国歌斉唱から始まり、全員参加の歌と踊りとユーモアセンスなマジシャンのおかげで旅の疲れも忘れ、これまで他のクラブでは体験したことのないようなふれあい交流ができました。ＦＦ広島の人々に会えてよかった」（カナダ・アンバサダー） とのうれしいフィードバック。交流プログラムは今後もますます多様化しナイト

通常、福山・広島に到着する前、ほとんどのアンバサダーは東京、京都、奈良などゴールデン・ルートにおいて日本文化のベストなものにかなり触れて来ておられますので、あくまでもホームステイを中心にして、こちらでは田舎の温泉などできるだけOff the beaten trackのレアーなさと山・さと海方面を案内しました。なかでも奥出雲の湯村温泉や地元の神勝寺国際座禅堂は日本人の自分にとっても新発見でした。Yumura Onsenへはもう一度リピートしタイト（Ross & Nancy from Victoria）

弓手　博

《 デビーとマーサを受け入れて 》

昨年、一昨年と続いて二人のアンバサダーを受け入れました。どんな人が来るのかいつも期待をもって待っています。もてなし方はうまくないのですが、出来るだけ快適に過ごしてもらえたらと思って準備をしています。ただいろんな行事があったり、健康面の衰えもあり、万全とはいきません。今回はそれに加えて「日本のお寺」について話してくれないか、という会長からの依頼もあり、少し悩みました。

「お寺についての話」については、以前法要で話した「宝福寺の歴史」とか今年5月の宝福寺「永代経法要」で使った親鸞聖人の生涯についての絵を使用して、原稿を作り、出来るだけ簡単にして話しました。多くの人に仏教や親鸞聖人について短時間に話すのは楽なことではありませんでしたが、外国人に親鸞聖人について関心を持ってもらえたのはうれしいことでした。

また、今回はフリーデイが3日あったのですが、観光地見学だけでなく、家の近くの文化体験もできたらいいのではないかと思いました。それから「しまなみ海道観光」と「尾道観光」は切り離した方が楽だと思いました。前回も今回も尾道はただ行っただけで印象に残りませんでした。余裕を持った計画をお願いします。

二人と無事に帰国したというメールを受け取り安心しました。皆様ご苦労様でした。

延広　正行　路子

11月5日は、フリーデー。最高のお天気に恵まれ、私達は瀬戸内海に浮かぶリゾートアイランド大久野島へ神森さんとの5人で出かけました。ここは、1周が約4km程度の小さな島ですが、ここに野生の兎が300匹も生息しています。ソフィーとジャクリーンは、彼らの可愛い姿に大喜びそして快い風に吹かれながら、美しい海辺でお弁当を広げ大はしゃぎでした。　　森川　悦子

ペンパイナッポーアッポーペン（ピコ太郎のPPAP）でコー太郎（6歳）とアン（4歳）がダンスと歌でAllan&Lorie御夫妻を迎えました。You Tubeでカナダでも観ているので大盛り上がり^_^。Lorieもノリノリ。ホームスティもいいスタートです。さて今回は福山を去る前日に地鎮祭に出席と素晴らしい体験をしてもらました。Bow twice,Clap twice and Bow again！Allan&Lorieは神社に興味がありよく勉強しているのでスムーズに進行！工事関係者もビックリ!!翌日は鹿児島に向かいました。ホームでGood Luck!さん　　桑田　慎一

J Stephen Hartmanさんと府中市上下のあやめ温泉に行った時のショットです。Stephenさんは温泉に入るやいなや、「日本の人はどんな入り方をするのですか？」と聞いて来られて３回くらい休みながら入るのですよ、と答えたらじゃあということで 二人で３回通り入りました、、。うたせ湯、ジャグジー湯、露天風呂、檜木風呂、 水風呂それぞれにゆっくりとお話ししながら入りました。先生なので「最近の生徒さんは英語の他に第二外国語は何を専攻される人が多いですか？」との質問に間髪入れず「中国語です！」と言われたのが印象に残っています。露天風呂では空を見上げながら Niagaraの近くを散歩されることや夏も冬も素敵な風景が心を癒してくれますと楽しそうに話してくださいました！別の日にも鞆の浦の江戸風呂にも行きました、、。お風呂のなかで ゆっくりいろんな話しが出来たことが心に残りました、、。彼の笑顔とともに、。
ありがとうございました！Stephenさん！　　小川 徹

《 Canada からSandra をむかえて 》

朝食前、数回にわたりカナダ在住の子供や孫たちとのスカイプでの家族紹介。当初気になっていた食事も何も心配することなく、私のたどたどしい英語と夫の上手なボディランゲッジでなんとかコミニュケーションがとれました。

【 烏　瓜 】

フリーデイの日、猪原さんやジョンと一緒に鞆の浦から尾道までのクルーズ乗船、尾道散策に満足の様子でした。Sandra は宝石デザイナーで、社交ダンスや写真撮影等々多趣味で、風景も違った視点で、参道の烏瓜（からすうり）やお地蔵さん等多数撮影していました。数日後、日本の生け花にも挑戦しCanadaでも家の周りにある野山の花で部屋を飾っているそうで、思いっきりの良いシャープな花を生けました。福山に来る前、川崎や姫路で電車や道を間違えた時、Konnichiwaと日本語で話しかけたら、途端に親切になり車でホテルまで送ってくれた等、日本人は本当に親切で優しいとおしゃべりにも花が咲きました。

渡辺　絹子

Lynneさんは海や自然が大好きで船に乗ったり、温泉に入りたいなど来られる前にも聞いていましたので、友達と仙酔島に行って来ました。日本にただ１つと言われる江戸風呂に入りました。露天風呂や、3種類の蒸し風呂、寒い10月の海にもキャーキャー言いながら入りました。

ホストをさせて頂き毎回初めての発見や体験が増えていきとても楽しませていただいています。

写真は岡山の後楽園と、岡山城に行った時に着物を着せてもらって撮った写真です。

ありがとうございました。

内海　智恵子

セントラルイスラエルクラブ　STOPOVER

山本 鈴子

色々な意味で、日本にとっては遠い国であるイスラエルとの交流は興味深い反面、情報不足の為当初は少々不安もありました。しかし、「なでしこ会」のチームワークの良さを発揮して、約１時間という短い時間ではありましたが素晴らしい交流が出来たと思っています。それぞれのクラブ紹介、プレゼント交換、歌の交換、輪になってのダンスなどを通してすぐに打ち解けることが出来ました。FF会員というだけで、国、言葉、宗教を超えてすぐに仲良くなれるのは素晴らしいことだと改めて感じました。

日　時	９月15日 20：30 ～21：30
クラブ名	セントラルイスラエルクラブ
アンバサダー人数	３０名、１名（通訳）
交流場所	ホテルセンチュリー２１　レストラン
参加者	田村・阿部・竹内・松本・森川・山本

第28回 FF日本大会

２０１６年１１月１２日（土）、埼玉県さいたま市のホテルブリランテ武蔵野で、第２８回日本大会が開催されました。Jeremi Snook FFI会長をはじめ、全国から２６クラブの代表者２１３名（FF広島から猪原事務局長、川嵜さん）が参加しました。Jeremi 会長は次のように挨拶をしました。

・ＦＦＩはこれからもFund Raising (寄付)を継続し、新しい地域、国でのFFI開拓資金にして行く。

・ＦＦＩが実施したアンケートによると、ＦＦＩのミッションに興味を持ち、活動に参加したい人々が、世界中に２３００万人もいることが分かった。これからも、ＦＦＩのミッションをより多くの人々に理解してもらえる機会を作り、今ＦＦの人達の間で囁かれている噂を打ち消したいと強く思っている。

・FFI Boardから、２０１７年よりホストフィーが$１５０に引き上げられる報告。

・ＦＲからのブロック会議報告と５クラブ（札幌、西東京、長崎、奈良、広島）の発表があり、広島クラブは、英会話 サロンとなでしこ会を基軸にした活動を発表。

2017年渡航（South West Florida）への取り組み

本年の渡航先は2013年に広島クラブが受入れしたアメリカのSouth West Floridaクラブへのの Counter Visitです。フロリダは世界中から人が集まるアメリカ屈指のリゾート地帯ですが今回訪問するSouth West FloridaクラブはFort Myers を中心とした地域のクラブですがメンバーの多くはいわゆるSnowbirdと呼ばれる北米地域からの避寒者が多く渡航予定の３月の平均気温が２７℃と温暖な地域です。概略行程は下記の通りで、交換の期間中に、ユネスコ世界遺産として有名な世界最大級の大湿原Everglladesやトーマスエジソンとヘンリーフォードが避寒の為たびたび訪れた別荘地の見学も予定されています。

３月１日：広島空港出発、成田 → ヒューストン経由同日Fort Myers

３月１日 ～ ６日：ホームステイ

３月７日 ～ ３月12日：オプショナルツアー（キーウエスト → ニューヨーク）

3月13日：帰国

アンバサダー：18名　ＥＤ　猪原俊郎

これからのスケジュール 2017年の予定

日　　程	内　　容
1月28日（土）	定例総会　（ 松永コミュニテイーセンター ）
3月　1日（水）から 3月　8日（水）まで	South West Florida 渡航　（ 参加者18名　ＥＤ 猪原 ）
4月１６日（日）から 4月１８日（火）まで	SOH Haliburton Highlands, Canada
5月	英語研修　（ New Zealand ）
6月１８日（金）から 6月３０日（金）まで	Global Youth Ambassado Program　（ アトランタ高校生訪日 ） 武蔵野三鷹 → 広島 → 奈良 → 広島　（ ED 廣森　Co-ED 渡辺 ）
8月１８日（金）から 8月２４日（木）まで	英語研修　（ ロサンゼルス　ED 川嵜　Co-ED 森川 ）
9月　9日（土）	西日本ブロック会議　（ FF広島担当　千光寺山荘 ）
１０月　1日（日）	第29回 FF日本大会　（ FF郡山 ）
１０月 ～ １１月	受け入れ　Western Michigan　（ ED 小川徹　Co-ED 久田 ）

－ 新 会 員 紹 介 －

【 福井　清美　さん 】

斎藤かおりさんに誘われて入会しました。
今は受験生をかかえて忙しいシングルマザーで活動にほとんど参加できていませんが、いずれはもっと参加したいです。

編集後記

平成２９年度最初のNewsletterをお届けします。広報委員のメンバーをはじめ、たくさんの方にご協力いただき、無事に第１０号を発行することができました。本当にありがとうございました。読者の皆様に楽しんで頂けるよう、１年間頑張りますのでこれからもよろしくお願いします。Newsletterの質の向上のため、広報誌へのご意見等ございましたらメールでお寄せください。　（ 編集委員　廣森彌生 ・ 阿部真由美・ 小川正樹 ）